



学校だより

平成27年10月 9日 No. 17

こたき

教育目標

- か 考える子ども
- が がんばる子ども
- や やさしい子ども
- け 元気な子ども

☎ 92-4013
FAX 92-4019

いわき市立小名浜西小学校長 高木清美



宿泊活動で大きく成長！ 5年生



5年生は、先週の水～金曜日の3日間、猪苗代町にある磐梯青少年交流の家で、宿泊活動を行いました。秋めいてきた山々に抱かれた環境の中、大自然にふれながらいろいろな活動をしてきました。オリエンテーリングや野外炊飯、キャンプファイヤーなどの活動は勿論、食事をすること、お風呂に入ること、友だちと一緒に寝ること、出発から帰校までの全てが学びの場となります。2日目の夕方から爆弾低気圧による雨が降りましたが、予定通りナイトハイクも実施し、すべての活動ができ充実した学びができました。

家庭を離れ集団で寝食を共にすると、子どもたちのいろいろな面が見えてきます。宿泊活動では、**自分のことは自分ですることが求められます**。これは、普段からの生活がものをいいます。荷物のきちんと整理しながら生活できる子とバックが爆発したような子、バイキングの食事をバランスよく食べる子と好きな物だけ食べる子、時間を気にしながら友だちに声をかける子といつもぎりぎりになる子、さまざまです。

もう一つ大切なのが、**班で協力して行動することです**。班活動では、いろいろな問題が起きます。多くは互いのとらえ方や考えの違いによるものです。こちらも普段の生活が大きく関わっています。率先して班のために働こうとする子と言われてもやろうとしない子、友だちの意見を聞いてまとめようとする子と自分の意見を通そうとする子、班のまとまりを意識する子と自分の興味を優先してしまう子、さまざまです。人間は一人一人違いがある存在です。同じことをしても受け止め方はさまざまです。そのことを理解し、周りの人と折り合いを付けながら生きていくことができるかどうか問われています。

私たちは、一人で生きていくことはできません。衣食住はもちろんのこと、仕事をする上でも、人との関わりが大変重要です。人との関わりは、人間の永遠のテーマでもあります。自分の都合(わがままや自分勝手)とどう向き合うか大人も一緒に考えたい課題です。

子育ての目的は、親がいなくても一人で生きていけるように育てることです。宿泊活動という行事には、「子ども自身が自立について学ぶ」という意味があると思っています。子どもの成長の節々で、「もし、我が子が、宿泊活動へ参加したら」という観点でご自分のお子さんを見てみてください。教えておくべきことが見つかるはず。それは、国語や算数の勉強より大切なことではないでしょうか。自立に向け、我が子に伝えたいことは、親御さん自身が生きていく上で大事にしていることと深い関係があると思います。親御さんが大事にしていることを語る時、それはお子さんの心にしみ込むように届くと思います。



オリエンテーリング



野外炊飯



赤べこの絵付け



座禅体験

楽しかった修学旅行 6年生



—昨日、6年生は修学旅行に行っていました。見学場所は、国会議事堂、浅草寺、東京スカイツリー・ソラマチの3箇所。(プラス私鉄乗車体験)

友達と行く東京は、家族で行くのと違います。友達の見方や感じ方に触れ、自分の考えが広がるからです。もちろん友達との絆も深まります。今回の修学旅行で感じ取ったそれぞれの思いを大事にし、これからの生活に生かしていくことに期待します。**実際に自分の目で見て学ぶ貴重な経験が、子どもたちの本物の力になってくれると信じています。**(見学の様子はHPをご覧ください)

